

船舶事故等調査報告書

平成23年11月24日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2011横第49号	
事故等種類	衝突（岸壁）	
発生日時	平成23年3月21日 11時42分ごろ	
発生場所	名古屋港第3区 愛知県東海市新宝ふ頭I-2号岸壁付近 (概位 北緯35°02.8′ 東経136°53.0′)	
事故等調査の経過	平成23年3月21日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	貨物船 ^{ホン シン} HONG XIN 2（パナマ共和国籍）、2,999トン 9525601（IMO番号）、ANJI LEASING CO LTD 全長 約98m	
乗組員等に関する情報	船長、中華人民共和国籍、免状不詳	
死傷者等	なし	
損傷	本船 球状船首部に擦過傷、右舷船首凹損亀裂、右舷錨折損 岸壁 車止めに破損、ゴム製防舷体破損、暗渠部支柱折損	
事故等の経過	本船は、船長ほか13人（中華人民共和国籍13人、ミャンマー連邦共和国籍1人）が乗り組み、鋼板約3,000tを積載し、名古屋港第3区の岸壁から大韓民国釜山港に向けて離岸した。 本船は、右舷着けした状態から約2～3ノットの前進速力で左回頭中、機関を中立から後進にした直後に機関が停止したため、そのまま前進し、平成23年3月21日11時42分ごろ対岸の新宝ふ頭I-2号岸壁付近に右舷船首が衝突した。	
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 西北西、風速 約7m/s、視界 良好 海象：海上 平穏、潮汐 下げ潮の末期	
その他の事項	本船が離岸した岸壁と新宝ふ頭I-2岸壁との間の水路の幅は、約400mであった。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	不明 不明 なし 本船は、名古屋港第3区の岸壁を離岸して機関を前進にかけて左回頭中、行きあしを止めようとして機関を中立から後進にした直後、機関が停止したことから、行きあしの制御ができず、対岸の新宝ふ頭I-2号岸壁付近に衝突したものと考えられる。 本船の機関が停止した原因は、明らかにすることができなかった。
原因	本事故は、本船が、名古屋港第3区の岸壁から離岸して機関を前進にかけて左回頭中、行きあしを止めようとして機関を中立から後進にした直後、機関が停止したため、行きあしの制御ができず、対岸の新宝ふ頭I-2号岸壁付近に衝突したことにより発生したものと考えられる。	